ロータリーパーカッションドリル（クローラタイプ）

仕　様

モデル		アロードリル
メーカー		鉱研工業
型　式		RPD-150C
掘さく口径	(mm)	101～170(最大225)
掘さく深度	(m)	80(対象地層により変わります)
掘さく姿勢制御	ブーム角度	-17～+45
	ブームスイング角度	左右各35
	チルト角度	-90～+30
	ガイドセルローテーション角度	左右各90～0～15
	ガイドセルスローク	1400
ドリルヘッド	型　式	KD-800B
	打撃数　(bpm)	2200
	打撃エネルギー (kN-m)	7.4
	回転数　(rpm)	36～80
	トルク　(kN-m)	最大80
給進装置	給進方式	オイルモータとチェーンの組合せ
	給進力　(kN)	0～60
	引抜力　(kN)	0～60
	給進速度 (m/min)	0～6.5
	早送り速度 (m/min)	25(最高)
	ストローク長 (mm)	2760
	ガイドセル長 (mm)	5500
ロッドネジ戻し装置	方　式	単圧式パワークランプとオートマチックロッドブレーカの組合せ
	パイプサイズ (mm)	最大径216
	ブレークトルク (kN-m)	23
走行装置	方　式	クローラ
	走行速度 (km/h)	0～3.0
	登坂能力　(°)	30
走行時機体寸法(L×W×H)		7250×2450×2550
重　量	(Kg)	11500
パワーユニット	原動機 (kw/rpm)	111/1800
	燃料タンク　(L)	150
	作動油タンク (L)	270
	オイルポンプ吐出量	275(Mpa)

特　　長

●高性能ドリルヘッド搭載
高速回転、高打撃出力のKD-800型ドリルヘッドの搭載により、大口径掘削を容易にし、穿孔スピードも一段と高まりました。

●回転速度
オイルポンプを制御することによって、トルクを落とさずに回転数の変速ができます。

●安定した掘削を実現
高速回転域において8000N－mの回転力に加え80kNの押しと引抜力を構えているため、安定した掘削が可能です。

●扱いやすい制御機構
コントロールパネルの移動を油圧化し上下50cmの移動と180°のスイングがレバー操作できるため、クローラ機上の運転席でも掘削操作が可能となりました。

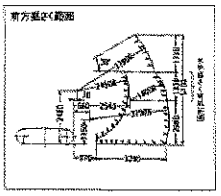
●付帯作業の軽減
オートマチックロードブレーカによりドリルロッドの切離し作業が簡素化され作業能率が飛躍的に向上しました。

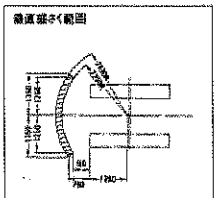
●広範囲な掘削方向
5要素のリンク機構を有するローディングデバイスが掘削方向を広範囲に確保します。

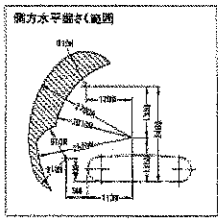
●一次排ガス規制対応エンジン搭載
一次排ガス規制対応のエンジンを搭載しました。また、一定時間負荷がなければ自動的にアイドリングに戻る自動アイドリングを装備、燃焼効率も良く経済性にも優れています。

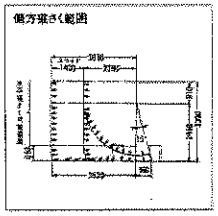
●クローラ・イコライザ装置を標準装備
起伏の多い地面での走行や掘削作業に際し、ドリル本体を水平状態に維持することが可能な、クローラ・イコライザ装置（±14°）が装備できます。

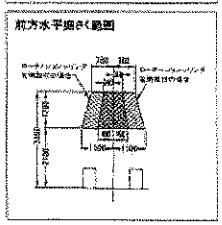
作業範囲



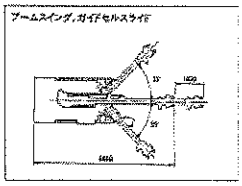


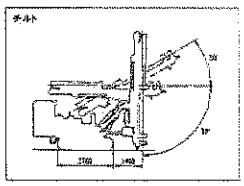


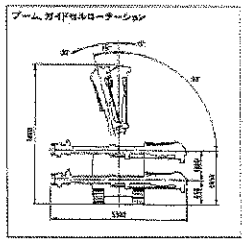


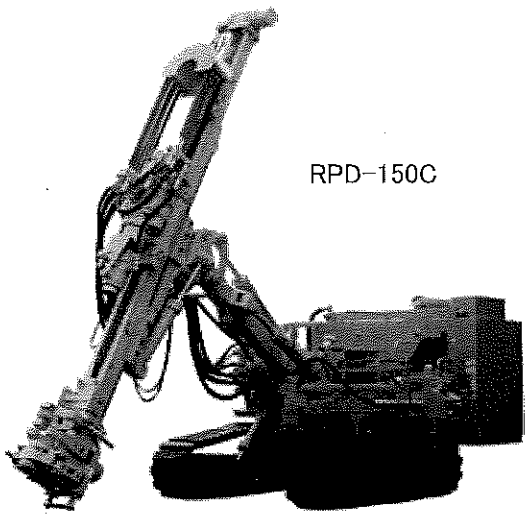


作動範囲









特殊機械